

新 評 論

 2025
12
No.353

 発行所 © 新 評 論 2025年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税込


京産大から電車で小一時間もあれば行ける「哲学の道」。歩く者を「問い」への思索に誘う独特の雰囲気

《問い》をつくりだす力は、学びを駆動するエンジンだ！
人々との対話と共創実践から生まれた《問いの技法大全》

問いヂカラの本

問いをハックする、問いで学びを開く

佐藤賢一

◆ジャンル：大学教育・アカデミックスキル

「問いには力がある。問いは、学びを動かすエンジンである」——本書は、このような信念のもとに生まれた「問いづくりの実践書」であると同時に、「問いとともに生きる力」を育むためのガイドブックである。二〇一六年に問いづくりの画期的メソッド「QFT (Question Formulation Technique)」と出会った著者は、その衝撃を原点として、教育現場・地域・企業などで「問いづくり活動家／クエスチョンデザイナー」として活動を重ねてきた。その実践から生まれた「ハテナソン (ハテナ+マラソン)」という問いづくりの共創イベントを軸に、対話と探究、そして研究などの場で「問いヂカラ」を育む方法を探求してきた。本書は、こうした一〇年にわたる実践の知見を凝縮し、理論・ワーク・物語を融合した構成で展開されたものである。

第1部では、主人公の「未知」が「問い」を通じて学びの世界を再発見していく物語が描かれ、読者は「問い」を磨くプロセスを内省的に追体験することになるだろう。続く第2部では、著者が担当教員を務める「京都産業大学ハテナソンセミナー」(全学共通・初年次教育科目・九〇分一五回授業)での実践内容を

モデルとした、実際に授業や研修で使える「問いづくりワーク」、「ファシリテーション技法」、「リフレクシオンツール」などを紹介し、教育・組織開発・キャリア探究など多様な現場において応用可能な「問いの技法」を体系化している。

「問いヂカラ」とは、単なる質問力ではなく、世界を見つめ直す感性であり、学びを生み出し駆動する創造的エネルギーである。AIが答えを出す時代になったからこそ、一人ひとりが「問いを立てる力」を取り戻すことが求められている。そんな時代に役立つ「知的コンパス」として、本書をすべての学び手・教え手・働き手に贈りたい。

(さとう・けんいち)

ISBN978-4-7918-1303-9

12月下旬刊

四六並製 予二二三頁 予二六四〇円

大学での学びをハックする

〔21世紀のアカデミックスキル〕

短期集中セミナー

ザカリー・ショア／佐藤賢一 訳 二六四〇円

好評 好 ハテナソンの本

〔「問いづくり」への旅〕

佐藤賢一

二四二〇円

著者 「ハテナソン (ハテナ+マラソン)」を旗頭に、問いづくり活動家／クエスチョンデザイナーとして教育現場や地域社会、企業などでのワークショップ、セミナー、研修の企画運営に携わる。「NPO法人ハテナソン共創ラボ」代表理事、京都産業大学生命科学部教授。

「日本初ネオリベ時代の日常生活批判の手引書」(酒井隆史氏評)

白石嘉治

白石嘉治・大野英士編『ネオリベ現代生活批判序説』(初版二〇〇五/増補〇八)の刊行二〇周年を機に、一月八日、都内のフリースペース「衆生庵」(Camp for All Beliefs)にて編者のひとり白石氏のお話を聞く会がひらかれた。催しを経ての所感を氏にご寄稿いただきました。

新自由主義は、社会主義に對抗して構想された。プロレタリアートの独裁にたいして、経済による統治をめざす。世界そのものを市場の競争に投げこむ。アマゾンの箱にパッケージする。つまり空間として所有の対象となる。時間ですら例外ではない。スマホという装置をつうじて、ネットの空間のなかに封じこめてしまう。失われつつあるのは、われわれの人生という時間である。

こうした新自由主義の体制からぬけだす方途を『ネオリベ現代生活批判序説』でさぐるうとした。タイトルはH・ルフェーヴルの『日常生活批判序説』(田中仁彦訳、現代思潮社)からきている。彼のいう「疎外」とは、

個人の空間に細分された現代の生活である。それにたいしてよびおこされるのは、一九世紀のパリ・コミューン(レアリスム絵画の開祖クールベも「すべてはうまくいっている」と断言した)である。われわれは空間によって分かれたれているが、同じひとつの時間をそれぞれ生



当日は運営メンバーのひとり中西淳貴氏(右)の司会進行のもと、「運動としてのネオリベ生活批判」が話しあわれた(写真提供:衆生庵)

きている。コミューンにおいて回帰したのは、そうした時間の経験である。

『ネオリベ現代生活批判序説』の結論は、大学の無償化とベーシックインカムだった。大学はコミューンでありえるし、人生の時間はベーシックインカムをつうじて経済の空間から解放されなければならない。初版刊行から二〇年たったが、結論を変更する必要はまったく感じない。ただ、今回、若い友人たちから本書について話してほしいといわれて留意したのは、結論の強度をたかめることだった。

たとえば、世界銀行がベーシックインカムを独自の通貨で全人類それぞれに支給する。ネ

ット上の電子ウォレットによっていまや可能であり、各国の中央銀行は消滅するだろう。国家は存続するかもしれないが、戦争の資金調達はできない。あるいはコミューンという空間的な制度ではなく、コミューンの経験を無償の大学のほかにも無数に織りひろげていく。世銀ベーシックインカム、そしてコミューンティからコミューンへ。賭けられているのは、たんなる生活の空間ではない。人生というわれわれの時間の自然そのものである。(しらいし・よしはる フランス文学/上智大学ほか非常勤講師)

四六並製 三三〇頁 二六四〇円

ISBN978-4-7948-0770-0



電子書籍も好評発売中
ISBN978-4-7948-1197-4

NHKから国民を守る党とは何だったのか？

選挙ウォッチャーも大いに驚かされた反社カルトの皮を被った政治

四六並製 二六〇頁 一六五〇円

「NHKから国民を守る党」とは何だったのか？

選挙ウォッチャーも大いに驚かされた反社カルトの皮を被った政治

党首逮捕により崩壊秒読み段階に入ったN国党。覆轍を避けるためにいま読むべき唯一無二の記録。

四六並製 二六〇頁 一六五〇円

「ニュースウィーク日本版」紹介
ISBN978-4-7948-1276-6

山谷をめぐる旅

長らく「ヤブ」のイメージとして描かれてきた「山谷」の歴史をたどり、そこを歩いた人々の足跡をたどる。『生と死』を愛する人々の必読作。

四六並製 二七二頁 二六四〇円

訪問看護師として働きながら、この街の「生き死に」を見つめ続けてきた著者による同時代の記録。写真約120点収録。

山谷をめぐる旅

織田 忍

最新刊
ISBN978-4-7948-1292-6

エコロジー階級の登場

人間を大地につなぎ直す大いなる反転

四六上製 二〇〇頁 予二四二〇円

エコロジー階級の登場

ブルジョア・ラッセル・ニール・シュルツ

川村久美子 訳・解説

この新しい階級概念は、私たち一人ひとりの明日の姿を描いている。人間を大地につなぎ直す大いなる反転。

四六上製 二〇〇頁 予二四二〇円

「図書新聞」寄稿
ISBN978-4-7948-1288-9

現代社会用語集

入江公康

世界／社会への解像度を上げる160の厳選キーワード解説のべ2万人以上が愛読した用語集の最新版「戦争」など重要項目を加えた最新版！

四六並製 二四〇頁 一八七〇円

世界／社会への解像度を上げる、明日に備えたい若者のバイブル、「戦争」など重要項目を加えた最新版！

現代社会用語集

入江公康

最新刊
ISBN978-4-7948-1299-5

一神教のラテンアメリカ

乗浩子

「カトリック大陸」の知られざる横顔

四六並製 二五六頁 三三二〇円

一神教のラテンアメリカ

乗浩子

「ユダヤ教・キリスト教・イスラム教をめぐって」多様な信仰が入り交じる宗教的実態から繰り出す色の中南米・カリブ社会史。

A5並製 二五六頁 三三二〇円

「クーヨン」他紹介
ISBN978-4-7948-1282-7

ジェンダー平等のまちをつくる

太田美幸編

市民の声はどのように行政を動かす、まちを変えていったのか

四六並製 二〇八頁 二四二〇円

「東京都国立市の挑戦」「誰も排除しない社会」をつくるために取り組んだ施策の舞台裏を描く。

ジェンダー平等のまちをつくる

太田美幸編

「読売新聞」書評
ISBN978-4-7948-1294-0

ラーゴムが描く社会

スウェーデンの「ちょうどよい」国づくり

鈴木賢志

ヴァイキングの飲み方に学ぶスウェーデン人の考え方「ラーゴム (lagom)」

四六並製 二三四頁 二四二〇円

ラーゴムが描く社会

鈴木賢志

「スウェーデンの「ちょうどよい」国づくり」何ごとにつけ「ほどほど」をよしとする哲学の奥深さに学ぶ。

四六並製 二三四頁 二四二〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1300-8

森のムツレと悲しむ小鳥

高見孝子・光嶋 訳

生物種の激減、森林破壊、気候危機……地球の未来を憂う子どもや若者と共に考え行動するための最良のエコアクション絵本。

B5並製 三三二頁 一九八〇円

生物種の激減、森林破壊、気候危機……地球の未来を憂う子どもや若者と共に考え行動するための最良のエコアクション絵本。

森のムツレと悲しむ小鳥

高見孝子・光嶋 訳

比較福祉社会学の展開

西下彰俊 編著 / 何幼容・山口佐和子・乙部由子・加藤典子・嶋守さやか

〔ケアとジェンダーの視点から〕

国家・地域の福祉性をケアとジェンダーの視点から読み解く意欲作。

A5並製 二五六頁 三〇八〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1280-3



訪問看護師ものがたり

嶋守さやか

〔在宅の力〕 自宅で最期まで「生ききる」ことを諦めない人たちがどう支えるか。6人の現役が在宅看護の実情とやりがいを語る。

四六並製 二二〇頁 二二〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1301-5



アイルランドから東北へ

佐藤亨

〔周縁と漂着の詩学〕 文学・民俗・歴史をよすがに、詩学的世界と現実世界を横断する故郷論。

四六上製 三二〇頁 三九六〇円

『図書新聞』書評

ISBN978-4-7948-1287-2



ちよつと自慢できる

京都の話

勝又郁子

〔平安京創生館で知る都〕 二二〇〇年の古都に平安京の姿を追

求め、その魅力に移住者目線で綴る。

四六並製 二二四頁+別冊四頁 二四二〇円

『月刊京都』紹介

ISBN978-4-7948-1293-3



経済学と経済政策

石水喜夫

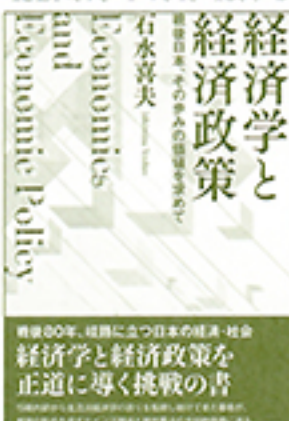
〔戦後日本、その歩みの価値を求め〕

戦後の起点を成すケインズ理論と現代憲法の今日的意義に迫る。

四六上製 三五〇頁 三八五〇円

『山梨日日新聞』紹介

ISBN978-4-7948-1290-2



マルグリット・デュラス

その愛の行方

佐藤浩子

失われゆく過去、内なる闇、狂おしい愛。没後30年を迎える世界的作家の創作の源泉に迫る本格文学研究。

四六並製 三三〇頁+別冊四頁 三〇八〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1296-4



地方財政調整制度史

中村稔彦

〔総額決定方法と配分方法〕 これまで解明されていなかった各制度内容の

詳細や運営実態の全容解明に迫る！

A5上製 四〇四頁 六三八〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1297-1



福島県浪江町

原発被災を超えて新たな「まち」をつくる

関満博

震災14年、多重被災を超えてまちの再構築にいとむ浪江町の歴史と現在を受け止めつつ、背景、復興状況、産業化の進展を注視。

A5上製 七〇四頁 九九〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1283-4



答えのない教室

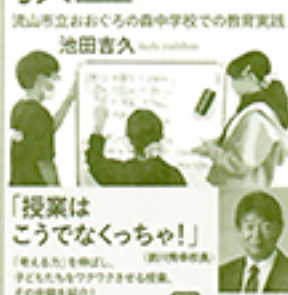
パート2

池田吉久

〔流山市立おおぐろの森中学校での教育実践〕
「考える力」を育み、子ども達をワクワクさせる授業の全貌。
四六並製 二二〇頁 二四二〇円

「ぐるっと流山」他紹介
ISBN978-4-7948-1291-9

答えのない教室



「考える教室」

をつくる

ピーター・リリヤード
梅木卓也 監訳／有澤和歌子 監修

〔授業はここまで変えられる〕生徒も教師も算数・数学が好きになる「答えのない教室」の理論的・実践的ルールとノウハウ満載！
A5並製 三九二頁 四九五〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1302-2



好評刊

ISBN978-4-7948-1285-8



大学での学びを

ハックする

ザカリー・シヨア／佐藤賢一訳

〔21世紀のアカデミックスキル短期集中セミナー〕五つのスキルがあなたを変える。全ての学生・研究者必読の書！
四六並製 二四八頁 二六四〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1279-7



ノンフォーマル教育の可能性

リアルな生活に根ざす教育へ
太田美幸・丸山英樹 編著
学校だけが「教育」ではない！
自由に学ぶために、私たちにできることがある

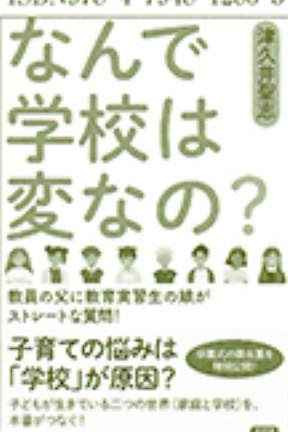
〔増補改訂版〕ノンフォーマル教育の可能性
太田美幸・丸山英樹 編著
「リアルな生活に根ざす教育へ」既存の教育観を超えた「別様の教育」の可能性を追求する試み。待望の増補改訂。
四六並製 三四〇頁 三三〇〇円

なんで学校は変なの？

津久井聖志

〔教員の父親に教育実習生の娘がストリートな質問！〕学校のおかしさの本質に迫りつつ解決策を模索する。
四六並製 二〇八頁 二四二〇円

「週刊教育資料」寄稿
ISBN978-4-7948-1286-5



大作物語

磯村元信編

〔「家がしんどい」子どもたちを支える社会的養護のリアル〕貧困と孤立が広がる社会に「寄り添うこと」の意味を問う。
四六並製 二四〇頁 二四二〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1284-1



七十二候の保育物語

宮武貴子・光橋翠編

〔バイオニアキッズが拓く持続可能な未来〕「子育て」は自然とともに！野外活動を基本とする保育実践。
四六並製 三三六頁 二七五〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1295-7



ファシリテーション型

生徒指導

山中信幸

〔対話が生みだす学びの共同体〕「主体的・対話的で深い学び」を実現するための支援・促進型指導を詳説。
四六並製 二六八頁 二四二〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1298-8



波名城翔 『離島の光と影——「シマ」の観光と自殺』

離島の自殺減らすには——福祉と保健連携で防止

■著者（琉球大准教授）に聞く

厚生労働省の人口動態調査のデータを分析したところ、離島だけで自治体を構成する全国の63市町村では、人口当たりの自殺死亡率が全国平均よりやや高い。特に男性は平均をかなり上回っています。理由としては、まず、コミュニティの狭さがあるでしょう。人間関係がうまくいっていいけれど、何かあったときに逃げ場がない。例えば、借金の問題など、すぐに知れ渡ってしまう。

精神科医療が脆弱なこともあり、小さな島だと、専門の医療機関がない。あっても、通院を知られたくないから、受診のハードルが高い。心の病は初期に対処すれば治りやすいのですが、手遅れになってしまう。島外の病院に通えるのは、お金持ちだけです。

男性が多いのは、弱音を吐ける

話し相手がいらないからではないか。長男は島に帰って家を継がなきゃいけないといったプレッシャーもある。島によっては、お酒をたくさん飲む文化もあります。飲酒量が多くなることで、自殺のリスクは高まる。

また、「島立ち」の影響も大きい。高校・大学進学や就職のため、多くの若者が10代で島を出ます。しかし、都会の生活に適応できず、メンタルヘルス（心の健康）を損なうこともある。

（島の自殺を防ぐには、どうすればよいのか）

離島の自治体は規模が小さく、自殺対応の担当者は他の仕事と兼務している。マンパワーが足りません。福祉と保健の部署が分かれていて、ところも多いのですが、本来は社会福祉士や保健師らが一緒に取

『琉球新報』2025年9月9日

り組んだ方がいい。地域づくりの一環として、福祉の分野から介入し、生活に困窮して、うつ傾向の人がいれば、医療につなぐとか。

自殺の兆候に気づき、適切に対応できるゲートキーパーを国は養成しています。でも、自治体の講座には、興味のある人しか来ない。一般の人が参加できる仕組みが必要です。各地の自治会を対象に、ゲートキーパー養成講座を開いてはどうか。

島立ちの対策も求められています。僕も宮古島出身で、高校卒業後に福岡市の大学に進みましたが、家族や近所の人と離れ、行き場がなくなつたように感じました。兄が近くに住んでいなかったら、適応できなかったかもしれません。文部科学省は自殺予防のため、子どもが大人にSOSを出せるよ

うにする教育を進めています。それも大切ですが、離島の子どもは、島で周りに見守られていた環境から、単身で自活しないといけない状況に置かれます。島立ちを見据え、ごはんの作り方や、人に質問する仕方など、一般的な生活のルールを教えることが大事です。

離島の光と影

波名城翔

「シマ」の観光と自殺——観光ブームに湧く離島を対象に、自殺予防対策の実態をインタビュー形式で紹介。四六並製 二八〇頁 三〇八〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1281-0



癒しを求めて多くの観光客が訪れる離島、その裏側では……
さまざまな離島をめぐり、自殺の実態と対策を追究

本を売る

来し方 行く末

大学を卒業して書店に就職したのが33年前。まだレジは手打ちで、書誌検索するシステムもほとんど普及しておらず、売上管理はスリッパで行っていた。常備品が売れるとスリッパの裏にその日の日付印を押して保管しておき、取次の担当者が訪店時に回収してくれた。新刊の売上推移は紙の台帳記録で追いかけていた。Windowsがでて、PC関連書の売上が爆上がりした翌年の1996年をピークに、書店の売上が減少し始めた。99年に7年勤めた書店を退職し書店業界を離れた。学生時代も書店でアルバイトしていたし、本が好きでこの業界に入ったけれど、その頃の自分とはとても疲弊していたと思う。身内の死もあった。本の世界から距離を取りたかったのかもしれない。まったく別の業界で働き始めた。

3年経って書店に復帰した。初日の朝のことが忘れられない。開棚前の雑誌や書籍が店内のフロアに置いてある。ひんやりとした静かな店内でそれらを前にしていると、戻ってきた、と実感した。入荷したばかりの雑誌や書籍の山を見てみるとワクワクする、やっぱりこの仕事が好きなんだ、と思った。その情景は、その後、いろんな書店に転職しながら今に至るまで書店員を続けてきた原点となっていると思う。

以来、さまざまなタイプの書店に勤めてきた。復帰時はレンタル・CDゲーム販売も行う複合店。地元に着しつづつ関東圏に店舗網を広げていたチェーン店で働いたこともある。本店では教科書販売や配達、図書館への納入などもあった。別のチェーンでは店舗詰めではなく、各店の担当ジャンルを車で見て回りつつ版元さんの窓口となる本部の仕事もした。売上もフロア面積も巨大な大型店で働いた時期もあった。

今の書店に転職して11年を超えた。これまでで一番長く勤めている。開棚前の商品を前にすると、今でもワクワクする。

くまざわ書店武蔵小金井北口店
原口賀尚

本誌表示価格はすべて税込です。

書評日誌(6・30~8・30)

◎書評 ◎紹介 ◎関連記事

- | | | | |
|------|---|----------|--|
| 6・30 | ◎政治哲学『リベラリズム』(大澤津) | 教室 パート2』 | |
| 7・1 | ◎夏休みに読んでみましょう2025(岩国市図書館)『ヴィンデビー・パズル』 | 7・20 | ◎広報ながれやま『答えのない教室 パート2』 |
| | ◎図書館員が選ぶ今年のオススメ18冊(吹田市立図書館)『ヴィンデビー・パズル』 | 7・23 | ◎ぐるっと流山(流山市)『答えのない教室 パート2』 |
| 7・10 | ◎新文化『答えのない教室 パート2』 | 7・27 | ◎岩手日報『アイルランドから東北へ』 |
| 7・11 | ◎朝日新聞(夕刊)プレゼントコーナー『ちょっと自慢できる京都の話』 | 7 月 | ◎温故知新(静岡文化芸術大学図書館・情報センターだより)『メイド・イン・ツバメ』 |
| 7・13 | ◎全私学新聞『世界一やさしい推薦・総合型選抜の授業』 | 8・4 | ◎京都新聞『山谷をめぐる旅』(著者談) |
| 7・16 | ◎BCNメディアポータル→Yahoo!ニュース『世界一やさしい推薦・総合型選抜の授業』 | 8・17 | ◎読売新聞『ラーゴムが描く社会』(櫻川昌哉) |
| 7・18 | ◎ちいき新聞(流山版)→Yahoo!ニュース『答えのない教室 パート2』 | 8・30 | ◎図書新聞『増補2版 現代社会用語集』(著者寄稿) |
| | | 8月号 | ◎家庭画報『あなた自身の社会』 |
| | | 2025夏秋号 | ◎うさちゃんだより(多賀城市立図書館)『ひとりじゃないよ』 |

本を読む

ラーゴムが描く社会

二〇二五年秋、日本で比較第一党+閣外協力政権が成立した。老後は誰もが年金で暮らせるという「普遍的」状況は過去のものとなつてしまった。年金が少ないので働かざるを得ないのは悲しい。働く高齢者については所得税率を抑えてほしいし、企業は社会の公器であつてほしい。「ちょうどよい」社会を考える上で本書を興味深く読んだ。「福祉国家はラーゴムでなければならぬ。給付は仕事へのインセンティブを減らすほど寛大にすべきではないし、税金は多くの中産階級が不満に思うほど高くすべきでもない」。ルンド大学のA・ベリ准教授の言う通りとは思ふ。(米子市 医療福祉関係 田辺路晴 60歳)

質問・発問をハックする

質問は何のためにするのか。それは授業時間内で教員側の狙うゴールに生徒が到達するためではない。常に生徒が主体となつて物事を考えていくためのコーディネーターが我々の役割なのだということが本書で痛感した。(川崎市 教員 岡田渉 48歳)

員 岡田渉 48歳

ワイルド・アイデア

自然界で生き物たちがいかに知恵を働かせているのかを知り、人間もそこから学ぼうという絵本。困った時は自然をヒントに問題が解決できるかもしれないという希望が持てます。人間社会は複雑ですが、知恵と工夫でなんとかしたいものです。(香取郡 教員 小山茂雄 65歳)

好評刊

質問・発問をハックする

(眠っている生徒の思考を掘り起す)

C・ハミルトン

山崎亜矢・大橋康一・吉田新一郎 訳

二七五〇円

ワイルド・アイデア

(自然のなかにひらめきをみつけに)

エリン・ケルシー (文)

ソリアン・キム (絵) / 光橋 翠 訳

一七六〇円

ヴィンデビー・パズル

ロイス・ローリー / 島津やよい 訳

二四二〇円

世界一やさしい

推薦・総合型選抜の授業

小杉樹彦 一六五〇円

編集部から

11月9日、N国党代表・立花孝志被告がついに逮捕された。虚偽情報(元兵庫県議)の生前・死後の名誉を毀損した容疑で刑事告発された。兵庫県警がデマ認定した1年前の時点で逮捕していれば竹内氏の命は救えたはずで、遅すぎた。それでも、選挙ウオッチャーだ。氏は今回の逮捕を「日本社会が正常に回っている証拠」として言祝ぐべきと語る。7年にわたり立花一派によるネットリンチやパンフボムに遭いながらも屈せず、選挙制度と報道の自律性を守るために闘い続けた立花氏に感謝。いまだに立花被告や斎藤兵庫県知事を擁護している人々(逮捕後に解派を組むという愚挙を犯してしまつた自民党諸氏には、今からでも遅くないので「NHKから国民を守る党」とは何だったのか?)を読んで認識を改めてほしい。

営業部から

直近3ヶ月(2025年8月~10月)弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介します。

- ① たった一つを変えるだけ
- ② 答えのない教室
- ③ ラーゴムが描く社会
- ④ 感情と社会性を育む学び(SEL)
- ⑤ 虚構の「近代」
- ⑥ 増補改訂版

ノンフォーマル教育の可能性
教科書では学べない数学的思考
SELを成功に導くための

⑨「NHKから国民を守る党」
とは何だったのか?

- ⑩ ギヴァー 記憶を注ぐ者
- ⑪ 増補2版 現代社会用語集
- ⑫ あなた自身の社会
- ⑬ 学びは、すべてSEL
- ⑭ なんでも学校は変なの?
- ⑮ 七十二候の保育物語

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。
入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。
ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メールまたはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。